

minami
shinshu
ニッポンの日本。

すきです

南信州

幼年期から「火の用心！」

—安心・安全なまちを目指して—

幼年期から正しい火の取扱いを学ぶことで、火遊びを防止するとともに、家族・地域ぐるみで防火思想の高揚を図ることを目的としています。

リニアを見据えた地域づくり……………	2
南信州広域連合 第3次 広域計画……………	3
平成22年南信州広域連合議会第2回定例会……………	4
平成23年南信州広域連合議会第1回定例会……………	5
桐林リサイクルセンターを開設します……………	6~7
住宅用火災警報器をつけましょう……………	8

圏域内の人口・世帯数
(2011.2)

人口	169,241人
世帯	58,512戸



三穂保育園(幼年消防クラブ)

リニア中央新幹線飯田駅を見据えた地域づくり

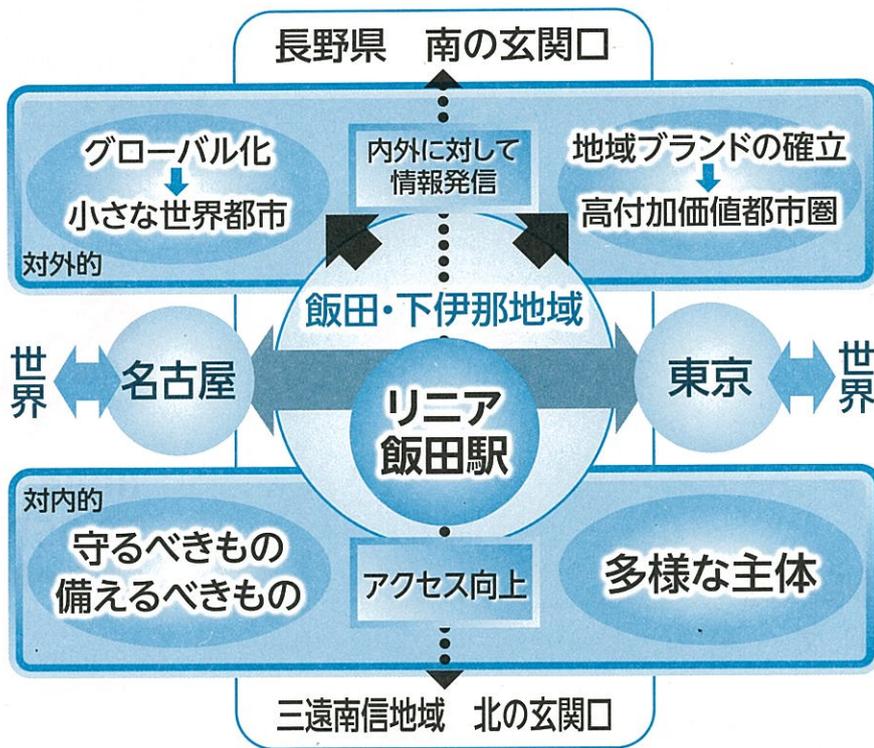
『リニア将来ビジョン』を策定しました

二〇二七年(平成39年)開業予定のリニア中央新幹線については、現在の交通政策審議会において全国新幹線鉄道整備法に基づく整備計画決定に向けた審議が進められており、今春には、審議結果が取りまとめられる予定です。その後は、環境影響調査等のリニア実現に向けた様々な手続きが進められることが考えられます。

リニア中央新幹線の実現は、この地域の将来を大きく左右することから、リニアがもたらすプラスの効果を最大限に活かし、マイナスの効果を

最小限に抑えるまちづくりを推進していくため、南信州広域連合では、「リニア将来構想検討会議」を設置し、延べ22回の会議を重ね「リニア将来ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、目指すべき都市像として、対外的には、「グローバル化(国際性)」「小さな世界都市へ」と地域ブランドの確立、多機能高付加価値都市圏へ」を、対内的には、「多様な主体」「守るべきもの、備えるべきもの」を示しています。その骨子について、お知らせします。



対外的に目指す地域像

飯田下伊那地域が、外来者の舞台になることや地域外に情報発信することにより、日本のモデル的事業の展開や世界で誇れるような地域になることを目指します。

グローバル化(国際性)

「小さな世界都市へ」

リニア中央新幹線の実現は、国内はもちろんのこと、海外とのつながりもこれまで以上に高まり、グローバル化を促進させます。このグローバル化を活かし、人のつながりを大切にする風土を活かした小さな世界都市を目指します。

地域ブランドの確立

「多機能高付加価値都市圏へ」
リニア中央新幹線の開通に

対内的に目指す都市像

より多くの人と情報が往来します。このことに対して、飯田下伊那地域として、地域ブランドを確立し、先駆的なモデル都市になるような多機能高付加価値都市圏を目指します。

守るべきもの、備えるべきもの

リニア中央新幹線の開通による地域の変化には、地域が主導権を持つて対応することが重要です。先人が培ってきた文化や伝統を守りながら今後も飯田下伊那地域の住民が、地域のことを自分たちで考えるまちづくりを進めます。

多様な主体

飯田下伊那地域に今も残る「結い」の精神を大切に、住民が自ら活躍する地域が大切です。また、「地域で活躍する

価値観、地域を愛する価値観」などを醸成する人材育成に取り組む等、多様な主体が活躍する地域を目指します。

守るべきもの、備えるべきもの

「守るべきものは守って未来に伝え、備えるべきものは備えていく」という理念に基づいた地域づくりを目指します。

地域像の実現に向けて

将来の地域像を実現するには、地域の内外を問わず「情報発信」することが必要です。また、駅勢圏が広く捉えられる「交通結節性(アクセス性)の向上」と駅を中心としたまちづくりの取り組みが必要です。

リニア中央新幹線の飯田駅の設置を見据え、飯田下伊那地域は、地域の外と内に対してそれぞれ目指す都市像を推進してまいります。

リニア将来ビジョンは、南信州広域連合ホームページ

(http://www.mi7mi.org/jy_ouhou/jyoho_linear.html)にも掲載していますのでご覧下さい。

南信州広域連合 第3次 広域計画 (平成23年度～平成27年度)



南信州広域連合では、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域が総合的、戦略的に取り組みをはじめめる初期5ヶ年計画として、「南信州広域連合第3次広域計画」を策定しました。

第3次広域計画の策定にあたって

1 南信州市町村の状況と新たな展開 一体的な政策連携

南信州地域はこれまで、行政の枠を越えた一つ的生活文化圏域を形成し、その一方で、各市町村が地域の特徴を活かした独自施策を長年にわたって展開してきたことにより、それぞれが個性と魅力を持ち、住民が市町村に誇りと愛着を持つ、多様な地域社会を創り上げてきました。しかし現在、人口減少、少子高齢化の急速な進行や経済のグローバル化などにより、すべての市町村が生活機能等をフルセットで整備することは困難となっており、様々な課題は、市町村個別の対応では必要とするニーズに応じきれない状況となってきました。

個々の市町村の多様性や自立性は、当地域の合併によらない地域づくりの大きな特徴ではありますが、山積する大きな課題を解決し、地域や市町村の持続性を確保していくためには、個々の市町村が自治や個性を大切にしながら地域全体の視野を持って役割を担う、南信州市町村の一体的連携による政策展開が必要となってきました。

2 南信州広域連合の方向性と役割 地域政策の推進

南信州広域連合は、今後も従来の事務事業を担うとともに、人口減少をはじめとする地域全体の危機的状況に対処し、持続可能な地域づくりを実現していくため、一体的な地域経営の視点から、役割分担しつつ地域政策に対しても積極的に推進していきます。

3 定住自立圏構想と南信州広域連合との関係

定住自立圏構想は、地域を一体的に扱う広域連合制度による地域づくりと補完の関係にあることから、当地域はこの両輪によって総体的・一体的な地域づくりを進めていきます。

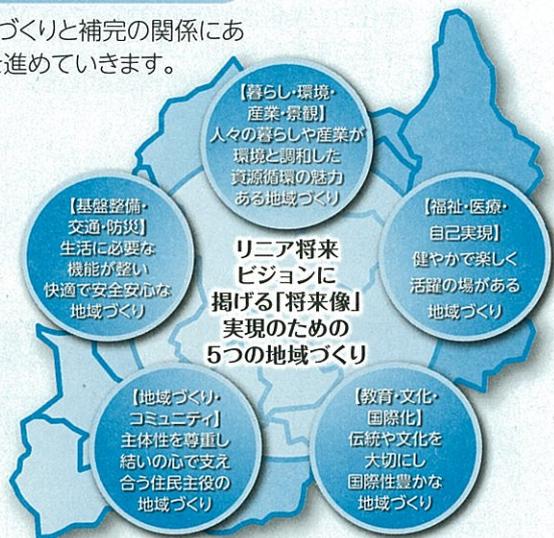
南信州地域の「将来の地域像」

1 将来の地域像

リニア中央新幹線飯田駅の開業を見据えた南信州全体のビジョンである「リニア将来ビジョン」(平成22年11月策定)における将来の地域像を、この計画における将来の地域像とします。

2 5つの地域づくりと地域づくりの主体

将来の地域像実現のために第3次広域計画期間の目標として、「5つの地域づくり」を掲げ、多様な主体による役割分担と協働により実現します。(広域連合、市町村、地域住民・住民組織・NPO・企業等)



5つの地域づくり

広域計画

1 基幹事務事業

南信州広域連合では、市町村事務の共同処理や、広域的な行政サービスの提供や各種ソフト事業を展開してきました。これらの事務事業は、基幹事務事業として今後も取組内容を適宜見直ししながら継続して実施していきます。

- ① 広域行政の推進に関する事
- ② 地方拠点都市地域の振興整備に関する事
- ③ 広域的な幹線道路網構想及び計画に関する事
- ④ 広域防災計画に関する事
- ⑤ 消防に関する事
- ⑥ 介護認定審査会に関する事
- ⑦ 市町村審査会(障害程度区分)に関する事
- ⑧ 老人ホーム入所判定委員会並びに入所調整に関する事
- ⑨ 地域生活支援事業としての相談支援事業に関する事
- ⑩ 障害者支援施設に関する事
- ⑪ 共同生活援助事業所及び共同生活介護事業所に関する事
- ⑫ ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の広域化計画に関する事
- ⑬ ごみ処理施設に関する事
- ⑭ し尿処理施設に関する事
- ⑮ 市町村間の人事交流の連絡調整に関する事
- ⑯ 広域的な課題の調査研究に関する事
- ⑰ 長野県から権限委譲された事務に関する事
- ⑱ 広域計画の期間及び改定に関する事

2 調査研究プロジェクト 地域政策への取り組み

南信州広域連合は、地域政策の取り組みとして、当地域における重要な課題を「調査研究プロジェクト」として設定し、関係市町村のトップリーダーが参画するなどして、一丸となって解決に向けた調査研究に取り組んでいきます。

このプロジェクトは、当広域連合が推進していくほか、当該プロジェクトに関係する市町村などを推進主体として、民間の力を元に専門家の協力も得ながら、役割分担して進めます。

平成22年南信州広域連合議会 第2回定例会

平成22年11月24日(水) 飯田広域消防本部 3階大会議室

平成21年度各会計決算が認定されました

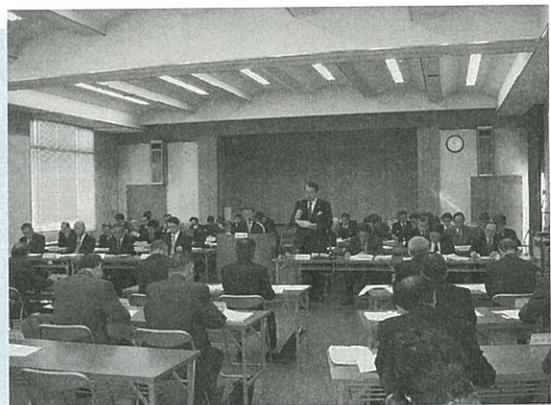
平成22年第2回定例会が1日間の会期で開催されました。
提出議案は条例案件3件、決算案件4件で、すべて原案のとおり可決・認定されました。

・・・【議案の内容】・・・

- 議案第19号 南信州広域連合使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 南信州広域連合知的障害者更生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 南信州広域連合共同生活援助事業所及び共同生活介護事業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 平成21年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第23号 平成21年度南信州広域連合ふるさと市町村圏基金(拠点分)特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第24号 平成21年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第25号 平成21年度南信州広域連合阿南学園特別会計歳入歳出決算認定について

・・・【全員協議会】・・・

1. 議会検討委員会からの報告
2. リニア将来構想について
3. 消防の広域化について
4. 飯田市・松川町・高森町による図書館ネットワークシステムの構築(定住自立圏形成協定の追加)について
5. 南信州広域連合規約の変更について
6. 高校改革プラン飯田新校施設整備進捗状況について
7. ドクターヘリについて
8. 南信州地域公共交通について
9. 南信州マーケティングショップについて
10. 南信州セカンドスクール事業について
11. 平成22年度議会日程について



平成21年度 各会計歳入歳出決算額

区分	21歳入 決算額(千円)	前年度比較	21歳出 決算額(千円)	前年度比較	21繰越 決算額(千円)	前年度比較
一般会計	1,763,261	314,275	1,691,053	280,062	72,208	34,213
ふるさと基金	27,382	△ 1,236	16,286	△ 5,119	11,096	3,883
広域消防	2,072,479	△ 155,538	2,027,868	△ 177,052	44,611	21,514
阿南学園	380,848	64,089	336,428	59,416	44,420	4,673
合計	4,243,970	221,590	4,071,635	157,307	172,335	64,283

決算の主な増減内容(前年度比較)

【一般会計】

- ・桐林クリーンセンター旧焼却場解体工事(140,307千円)
- ・桐林クリーンセンター触媒反応塔触媒交換工事(23,583千円)
- ・飯田竜水園施設改修工事の3カ年工事のうち初年度工事
(227,841千円)
- ・飯田竜水園 トラックスケール更新工事(8,610千円)
- ・リサイクルセンター実施設計(2,100千円)

【ふるさと市町村圏基金(拠点分)特別会計】

- ・財産収入(基金利子)(△2,525千円)
- ・地域イメージ、地域ブランドの構築・推進(△2,940千円)
- (セカンドスクール事業、マーケティングショップによる情報発信等)

【飯田広域消防特別会計】

- ・退職手当金(退職者10人→5人)(△141,838千円)
- ・人件費(退職手当を除く)(△66,769千円)
- ・災害対応特殊消防ポンプ車等整備(75,495千円)
- ・消防庁舎等施設整備(△9,344千円)
- ・財政調整基金積立(21,533千円)

【阿南学園特別会計】

- ・大規模改修工事(54,978千円)
- ・財政調整基金積立(8,754千円)

平成23年南信州広域連合議会 第1回定例会

平成23年2月23日(水) 飯田広域消防本部 3階大会議室

南信州広域連合選挙管理委員・補充員が替わります
阿南学園の指定管理者が決まりました
南信州広域連合第3次広域計画が策定されました
平成23年度各会計当初予算が可決されました

平成23年第1回定例会が1日間の会期で開催されました。
 提出議案は条例案件2件、一般案件3件、予算案件6件、議会議案1件で、すべて原案のとおり可決されました。

・・・【議案の内容】・・・

- 議案第1号 南信州広域連合組織設置条例の一部を改正する等の条例の制定について
- 議案第2号 南信州広域連合知的障害者更生施設の設置及び管理に関する条例及び南信州広域連合グループホーム及びケアホーム条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第3号 南信州広域連合広域計画の変更について
- 議案第4号 公の施設の指定管理者の指定について(知的障害者更生施設及び障害者支援施設)
- 議案第5号 公の施設の指定管理者の指定について(グループホーム及びケアホーム)
- 議案第6号 平成22年度南信州広域連合一般会計補正予算(第2号)案
- 議案第7号 平成22年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第2号)案
- 議案第8号 平成22年度南信州広域連合阿南学園特別会計補正予算(第2号)案
- 議案第9号 平成23年度南信州広域連合一般会計予算(案)
- 議案第10号 平成23年度南信州広域連合広域振興基金特別会計予算(案)
- 議案第11号 平成23年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計予算(案)
- 議会議案第1号 医療体制の充実を求める意見書の提出について

・・・【全員協議会】・・・

1. 議会検討委員会からの報告
2. リニア中央新幹線について
3. 南信州定住自立圏 圏域共生ビジョンの変更について
4. 要望書に係る進捗状況報告について
5. 消防の広域化について
6. 平成22年火災・救急・救助統計について
7. 高規格救急自動車の整備状況について
8. 南信州地域公共交通について
9. 桐林リサイクルセンターについて
10. 阿南学園の指定管理について

選挙管理委員

(任期 平成23年4月1日～平成27年3月31日)

氏名	市町村名
吉沢 忠義	飯田市
松尾 彬二	豊丘村
滝澤 治郎	平谷村
高田 英雄	泰阜村

補充員

氏名	市町村名
塩澤 貞子	飯田市
大久保智夫	大鹿村
高柳 紀一	根羽村
塩沢 昌	下條村

平成23年度 各会計当初予算

南信州広域連合議会第1回定例会において、平成23年度各会計の予算(案)が可決されました。3会計の総額は3,615,000千円で、前年度と比較して3.4% 126,700千円の減額になります。これは主に一般会計でリサイクルセンター完成による工事請負費(94,953千円)の減少、リニア中央新幹線飯田駅設置推進基金の新規積立(平成22年度20,000千円)を行わないためです。今年度は、阿南学園の指定管理による阿南学園施設整備基金の新設を予定しております。

区 分	23年度	22年度	比較	対前年度比率
一般会計	1,540,300	1,718,100	△ 177,800	89.7%
南信州広域振興基金特別会計	16,000	20,000	△ 4,000	80.0%
飯田広域消防特別会計	2,059,000	2,003,900	55,100	102.7%
合 計	3,615,300	3,742,000	△ 126,700	96.6%

主な事業の紹介

一般会計

＜議会費 5,960千円＞

- ・議会、全員協議会の開催
- ・議員による検討委員会の開催
- ＜総務費 103,102千円＞
- ・連合会議等、各種会議の開催
- ・請負人等業者選定委員会の開催
- ・三六災害50年事業
- ・阿南学園の指定管理

＜民生費 87,721千円＞

- ・介護認定審査会の運営
- ・養護老人ホーム入所判定委員会運営及び入所調整
- ・特別養護老人ホーム入所調整検討委員会運営
- ・障害者自立支援法に基づく市町村審査会の運営
- ・障害者自立支援法に基づく相談支援事業

＜衛生費 973,518千円＞

- ・ごみ中間処理施設運営
- ・し尿処理施設運営
- ・し尿処理施設改修工事
- ・リサイクルセンター運営

＜公債費 369,790千円＞

南信州広域振興基金特別会計

＜南信州広域振興事業費 15,778千円＞

- ・地域イメージ、地域ブランドの構築・推進
- ・地域情報発信

- ・広域観光振興
- ・南信州地域交通問題協議会事業
- ・三遠南信地域等の連携事業

- ・豊かな環境づくりの推進事業
- ・リニア推進事業
- ・地域課題調査研究プロジェクト

飯田広域消防特別会計

＜一般管理費 2,000,909千円＞

- ・職員研修(消防学校入校、救命士研修、川崎研修、緊急消防援助隊訓練)
- ・指令施設、無線整備等(デジタル基本設計、デジタル化に向けた基金積立)

＜常備消防費 35,132千円＞

- ・備品購入費(空呼吸器・ボンベ更新、除細動器更新等)
- ・消防、救急車両点検整備
- ・救急資機材整備

＜消防施設費 2,365千円＞

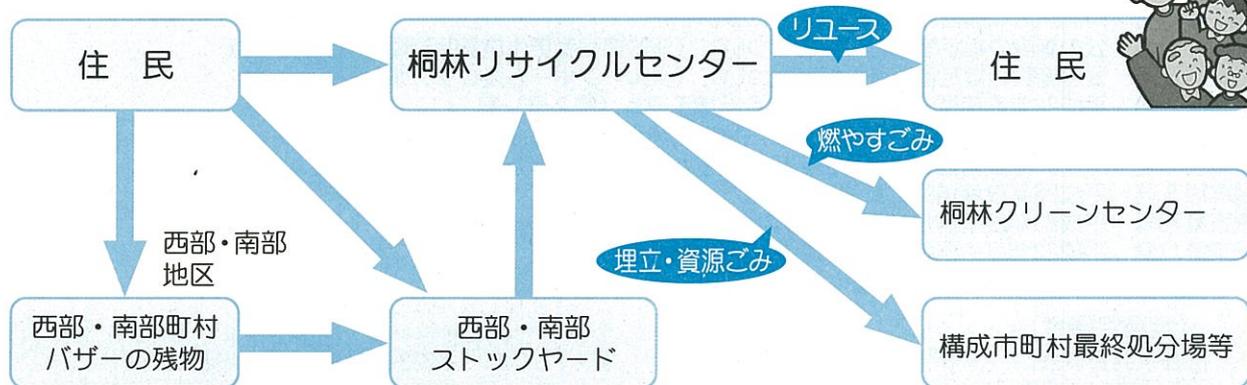
- ・消防無線同報局修繕
- ・メールサーバー更新

＜公債費 16,594千円＞

桐林リサイクルセンターを開設します

南信州広域連合では、ごみの発生、排出抑制をはじめとするごみ減量化の推進及び資源の有効活用を目指し、循環型社会形成推進に向けた環境意識の高揚（学習と啓発活動を行う）を図る拠点施設として、桐林リサイクルセンターを平成23年4月1日より開設します。場所は桐林クリーンセンター隣接地です。

リサイクルの流れ（燃やすごみ）



リサイクルセンターは、木製及び紙製の材質から出来ているものをリユースします。

リユースの流れ

リサイクルセンターで取り扱う物は、住民が再利用可能な物として持ち込んだ物（住民が直接持ち込む）の内、家具類、衣類、本、未使用の生活用品雑貨（木製及び紙製の材質から出来ているもの）について引取を行います。それを適宜調整等を行い、希望者に引渡します。

種別	取り扱う物	取り扱わない物
木製家具	タンス、椅子、学習机、カラーボックス、座卓、こたつ板、本棚等	左記以外のもの (材質がプラスチック製等)
衣類 (洗濯したもの)	子供服、マタニティー服、制服	左記以外のもの (下着、パジャマ、水着、帽子、靴下、小物)
本	小説、趣味・娯楽などの単行本、絵本	左記以外のもの (雑誌、漫画本、図鑑、辞書、社会通念上不適切な書籍)
木製生活用品雑貨 (未使用のもの)	お椀、お盆、菓子鉢、茶托等日用品	左記以外のもの (材質がプラスチック製等)

リユース品の手数料

次の2品目については、リユース品の処理事務手数料を受入時にいただきます。

① 木製家具：家具の長さ×幅×高さの計により300円～2,400円

② 紙・木製の生活用品、雑貨類：300円/10kg

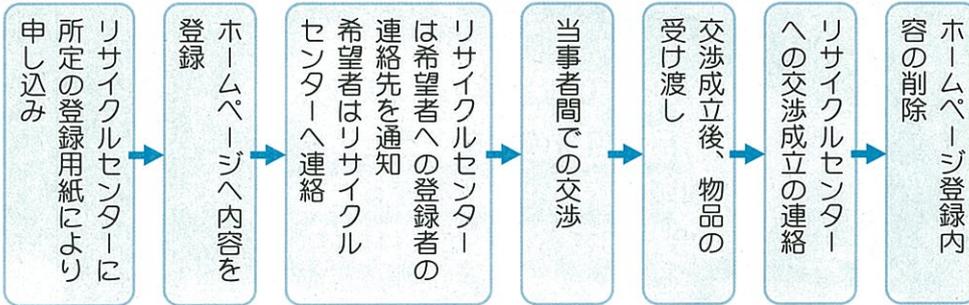
※ 長さ×幅×高さの最大計測値の合計が500cm以上のリユース品は処理の対象としません。

なお、リユース品は、無償頒布とします。

リユースデータバンクの設置

使っていた物が不要になった人、探している人の仲介をするリユースデータバンクをリサイクルセンターのホームページ上に設置します。

【利用概略図】



【利用方法】

- ① 「不要品を処分したい人」「探している人」は、登録申込用紙でリサイクルセンターへ申し込みを行っていただきます。（登録申込用紙はFAX可）
※登録申込用紙は、ホームページからダウンロードしていただくか、桐林リサイクルセンター構成市町村の環境課等の窓口に設置しています。 構成市町村：飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村
- ② 無償で取り扱う物のみを受け付けます。
- ③ 条件付の取扱いはしません。
- ④ 登録期間は3ヶ月間とし、リサイクルセンターのホームページに掲載します。
- ⑤ 登録物品は、登録者が保管をしていただきます。
- ⑥ リサイクルセンターは、登録申込用紙により「あげます」と「求めます」の希望が一致すると判断したら申込者に連絡し、当事者間で直接交渉を行っていただきます。
- ⑦ リサイクルセンターは、交渉等には関与しないので、両者の責任において取引を行っていただきます。
- ⑧ 交渉が成立したら、登録者はリサイクルセンターへ連絡をしていただきます。

【利用者】

桐林リサイクルセンター構成市町村在住の個人

【登録出来ない物】

- ① 商店、会社など事業所で不要となった物
- ② 飲食物、化粧品、薬品類、チケットなどの金券類、動物、下着、たばこ、不動産
- ③ 仏壇などの宗教上の物、人体に危険な物
- ④ 社会通念上好ましくない物、修理、清掃をしないと使用出来ない物
- ⑤ その他リサイクルセンターが不適切と判断した物

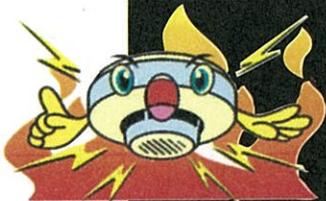
環境学習講座の開催

飯田市環境アドバイザーの環境学習プログラムを利用するなどして実施します。なお、学習内容・日程等は、ホームページ及び桐林リサイクルセンター構成市町村の広報等を通じてお知らせします。

施設利用案内

- (1) 開館日：火曜日から日曜日 休館日：月曜日
開館時間： 8:30～17:15
※なお、祝日及び年末年始12月29日～1月3日は休館となります。
- (2) リユース品の受入、引渡の受付
受入・引渡日：土曜日、日曜日、水曜日の週3日
受入・引渡時間： 10:00～12:00 13:00～15:00
※受入と引渡時間は同時設定

南信州広域連合 飯田環境センター
TEL0265-22-4066 FAX0265-53-2555
桐林リサイクルセンター
TEL0265-26-1050 FAX0265-26-1051



つけましたか？
住宅用火災警報器

あなたは火災の怖さを真剣に考えたことがありますか…？

火災から大切な家族の命を守るため
自分自身の命を守るため
地域の安心・安全を守るため
「今」できることがあります。

住宅用火災警報器をつけましょう

住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して警報音や音声で知らせます。

火災を早期発見するためには、住宅用火災警報器が大変有効です!!

平成25年度「飯田新校」が開校 新校の校名の考え方について ご意見を募集中



①募集する意見内容

「飯田新校」の校名の考え方について
ご意見をお寄せください。

②募集期間

平成23年3月25日(金)まで

③ご意見の送り先

飯田工業高校または飯田長姫高校へ

④ご意見の募集方法

郵送、電子メール、FAX など

⑤その他

募集の詳細は、飯田工業・飯田長姫の
ホームページをご覧ください。

※お問い合わせは、

飯田新校校名等検討委員会事務局まで
TEL.0265-22-7117(飯田長姫高校代表)

飯伊地区 医師・看護職員合同職業ガイダンス

- 期 日：平成23年4月30日(土)
- 時 間：午後2時～午後4時
- 場 所：飯田女子短期大学 地域響流館(ちいきこうらん)
(飯田市松尾代田610 TEL:0265-22-4460)
- 参加対象者：
 - ①求職者側
飯伊地区で医療機関への就職に関心をお持ちの学生、
中高生、及びその保護者、復職希望者、大学、高校及び
中学の進路指導担当者
 - ②医療機関側
飯伊地区で平成24年度に医師又は看護職を求人する
予定の病院又は診療所
- その他：研修医・看護師による相談コーナーがあります
事前予約不要、参加費無料
- お問合せ先：飯伊地区包括医療協議会
(TEL:0265-23-3636)



資源になる「紙」を燃やしていませんか？

桐林クリーンセンターへ搬入されるごみの約半分は「紙」です。しかも、その「紙」のほとんどが資源になるものです。チラシや、菓子箱、包み紙、割り箸の袋、紙袋、ラップの箱、コピー用紙等も「資源」になります。紙の分別にあたっては、もう一度見直しをお願いします。

※出す時の紙の分類は市町村により異なります。

